

| 領域 | 専門分野 母性看護学 | 開講時期 | 2年前期 | | | | | | | | | |
|---|--|--------------|------------|---|------|------|---|--|----|---|--|----|
| 科目名 | 母性看護学概論 | 単位数 (時間数) | 1単位 (15時間) | | | | | | | | | |
| 講師 (所属・職位等・実務経験) | 平川真紀(別府医療センター附属大分中央看護学校・専任教員・助産師17年) | | | | | | | | | | | |
| <p><科目目標> 母性の概念、母性の身体的・精神的・社会的特徴、社会の変化と母子保健の動向、変化に応じた地域の子育て支援、母性看護と法律及び女性の各ライフステージにおける看護の概要を理解する。</p> <p><内容></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>授業内容</th> <th>授業方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td> <p>1.対象理解の基盤となる概念</p> <p>1)母性、父性、親性</p> <p>(1)母性 ①母性の定義 ②母性の身体・心理・社会的特徴</p> <p>(2)父性 ①妊娠中の父性の発達 ②出産後の父性の発達</p> <p>③父性の発達を促す看護</p> <p>(3)親性 ①親になること ②親になることの性差</p> <p>③親になることの生物学的・社会的・発達心理学的・文化的な意味 ④親になる過程</p> <p>⑤親になる過程での発達課題</p> <p>⑥親になることについての準備教育</p> <p>⑦親になる過程にある人への支援</p> <p>2)母親役割、父親役割</p> <p>3)愛着・母子相互作用と母子関係</p> <p>(1)母子相互作用 (2)ボウルビーの愛着理論 (3)アタッチメント</p> <p>(4)クラウス・ケネル ポーンディング</p> <p>4)早期の母子接触</p> <p>5)家族の発達・機能</p> <p>(1)家族の機能</p> <p>①家族の形成 ②家族のなりたち ③現代家族の様相(核家族、シングル家庭、ステップファミリー)</p> <p>(2)家族の発達課題</p> </td> <td>講義</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td> <p>2.リプロダクティブ・ヘルスに関する概念</p> <p>1)リプロダクティブ・ヘルス/ライツ</p> <p>(1)リプロダクティブ・ヘルス/ライツとは</p> <p>(2)女性とリプロダクティブ・ヘルス/ライツの課題</p> <p>(3)女性のライフサイクルにおけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツとは</p> <p>2)性(セクシュアリティ)</p> <p>(1)セクシュアリティとは (2)セクシュアリティの発達と課題(3)生殖とは</p> <p>3)セックス、ジェンダー</p> <p>(1)人間の性の特質 (2)セックス:生物学的な性</p> <p>(3)ジェンダー:心理社会的な属性をあらわした社会文化的な性</p> <p>4)性の多様性 (1)性指向 (2)性的マイノリティ (3)性同一性障害</p> <p>(4)性分化疾患 (5)LGBT</p> <p>3.母性看護とは</p> <p>1)母性看護の意義</p> <p>2)母性看護の役割</p> <p>3)母性看護における看護職の役割</p> </td> <td>講義</td> </tr> </tbody> </table> | | | | 回 | 授業内容 | 授業方法 | 1 | <p>1.対象理解の基盤となる概念</p> <p>1)母性、父性、親性</p> <p>(1)母性 ①母性の定義 ②母性の身体・心理・社会的特徴</p> <p>(2)父性 ①妊娠中の父性の発達 ②出産後の父性の発達</p> <p>③父性の発達を促す看護</p> <p>(3)親性 ①親になること ②親になることの性差</p> <p>③親になることの生物学的・社会的・発達心理学的・文化的な意味 ④親になる過程</p> <p>⑤親になる過程での発達課題</p> <p>⑥親になることについての準備教育</p> <p>⑦親になる過程にある人への支援</p> <p>2)母親役割、父親役割</p> <p>3)愛着・母子相互作用と母子関係</p> <p>(1)母子相互作用 (2)ボウルビーの愛着理論 (3)アタッチメント</p> <p>(4)クラウス・ケネル ポーンディング</p> <p>4)早期の母子接触</p> <p>5)家族の発達・機能</p> <p>(1)家族の機能</p> <p>①家族の形成 ②家族のなりたち ③現代家族の様相(核家族、シングル家庭、ステップファミリー)</p> <p>(2)家族の発達課題</p> | 講義 | 2 | <p>2.リプロダクティブ・ヘルスに関する概念</p> <p>1)リプロダクティブ・ヘルス/ライツ</p> <p>(1)リプロダクティブ・ヘルス/ライツとは</p> <p>(2)女性とリプロダクティブ・ヘルス/ライツの課題</p> <p>(3)女性のライフサイクルにおけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツとは</p> <p>2)性(セクシュアリティ)</p> <p>(1)セクシュアリティとは (2)セクシュアリティの発達と課題(3)生殖とは</p> <p>3)セックス、ジェンダー</p> <p>(1)人間の性の特質 (2)セックス:生物学的な性</p> <p>(3)ジェンダー:心理社会的な属性をあらわした社会文化的な性</p> <p>4)性の多様性 (1)性指向 (2)性的マイノリティ (3)性同一性障害</p> <p>(4)性分化疾患 (5)LGBT</p> <p>3.母性看護とは</p> <p>1)母性看護の意義</p> <p>2)母性看護の役割</p> <p>3)母性看護における看護職の役割</p> | 講義 |
| 回 | 授業内容 | 授業方法 | | | | | | | | | | |
| 1 | <p>1.対象理解の基盤となる概念</p> <p>1)母性、父性、親性</p> <p>(1)母性 ①母性の定義 ②母性の身体・心理・社会的特徴</p> <p>(2)父性 ①妊娠中の父性の発達 ②出産後の父性の発達</p> <p>③父性の発達を促す看護</p> <p>(3)親性 ①親になること ②親になることの性差</p> <p>③親になることの生物学的・社会的・発達心理学的・文化的な意味 ④親になる過程</p> <p>⑤親になる過程での発達課題</p> <p>⑥親になることについての準備教育</p> <p>⑦親になる過程にある人への支援</p> <p>2)母親役割、父親役割</p> <p>3)愛着・母子相互作用と母子関係</p> <p>(1)母子相互作用 (2)ボウルビーの愛着理論 (3)アタッチメント</p> <p>(4)クラウス・ケネル ポーンディング</p> <p>4)早期の母子接触</p> <p>5)家族の発達・機能</p> <p>(1)家族の機能</p> <p>①家族の形成 ②家族のなりたち ③現代家族の様相(核家族、シングル家庭、ステップファミリー)</p> <p>(2)家族の発達課題</p> | 講義 | | | | | | | | | | |
| 2 | <p>2.リプロダクティブ・ヘルスに関する概念</p> <p>1)リプロダクティブ・ヘルス/ライツ</p> <p>(1)リプロダクティブ・ヘルス/ライツとは</p> <p>(2)女性とリプロダクティブ・ヘルス/ライツの課題</p> <p>(3)女性のライフサイクルにおけるリプロダクティブ・ヘルス/ライツとは</p> <p>2)性(セクシュアリティ)</p> <p>(1)セクシュアリティとは (2)セクシュアリティの発達と課題(3)生殖とは</p> <p>3)セックス、ジェンダー</p> <p>(1)人間の性の特質 (2)セックス:生物学的な性</p> <p>(3)ジェンダー:心理社会的な属性をあらわした社会文化的な性</p> <p>4)性の多様性 (1)性指向 (2)性的マイノリティ (3)性同一性障害</p> <p>(4)性分化疾患 (5)LGBT</p> <p>3.母性看護とは</p> <p>1)母性看護の意義</p> <p>2)母性看護の役割</p> <p>3)母性看護における看護職の役割</p> | 講義 | | | | | | | | | | |

| 回 | 授業内容 | 授業方法 |
|---|---|------|
| 2 | 4)母性看護におけるマネジメント 5)母性看護で用いられる看護の概念 (1)ヘルスプロモーション (2)ウェルネス志向 | |
| 3～4 | 4.母性看護の対象 1)母性看護の対象 (1)女性生殖器の機能 ①女性生殖器の構造と機能 ②性周期 (2)女性のライフサイクルと家族 (3)母性の発達・成熟・継承 2)女性のライフステージ各期の特徴と看護 (1)女性のライフサイクルと健康 (2)思春期の健康と看護 ①身体・心理・社会的特徴 ②健康問題と看護 (月経異常、機能性月経困難症、性感染症、若年妊娠・人工妊娠中絶) (3)成熟期の健康と看護 ①身体・心理・社会的特徴 ②健康問題と看護 (女性生殖器の疾患、器質性月経困難症、悪性新生物、不妊症) (4)更年期の健康と看護 ①身体・心理・社会的特徴 ②健康問題と看護 (閉経、卵巣機能低下、エストロゲン分泌量低下、更年期症状、骨粗鬆症) (5)老年期の健康と看護 ①身体・心理・社会的特徴 ②健康問題と看護 (骨盤臓器脱・尿失禁、萎縮性膣炎・外陰炎) | 講義 |
| 【課題】 女性のライフサイクル各期の特徴と健康問題、看護についてまとめ、提出する。 | | |
| 5～6 | 5.母性看護を取り巻く社会の変遷と現状 1)日本の母性看護の変遷 2)母子保健統計から見た母子保健の動向 (1)出生に関する統計(出生数、出生率、合計特殊出生率、合計特殊出生率の国際比較、出生の届出、戸籍法) (2)新生児・乳児・周産期死亡に関する統計(周産期死亡の定義、周産期死亡数、周産期死亡率と国際比較、新生児死亡の定義、新生児死亡数、新生児死亡率と国際比較、乳児死亡の定義、乳児死亡率) (3)妊産婦死亡に関する統計 (4)死産、流産、人工妊娠中絶に関する統計 3)母性看護に関する組織と法律 (1)母性看護に関する法律、目的、内容 ①母子保健法 ②児童福祉法 ③労働基準法 ④雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保に関する法律 ⑤育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律 ⑥母体保護法 ⑦子ども・子育て支援法 (2)母子保健施策からみた現状 ①エンゼルプラン ②健やか親子21 ③第2次健やか親子21 ④子育て世代包括支援センター ⑤地域で子育てを支える仕組み (3)母性看護に携わる職種 (4)母性看護の対象を取り巻く環境 ①地域社会 ②生物学的環境 ③社会文化的環境 | 講義 |
| 7～8 | 6.母性看護における課題と展望 1)リプロダクティブ・ヘルスケア (1)家族計画 (2)性感染症とその予防 (3)HIVに感染した女性に対する看護 (4)人工妊娠中絶と看護 (5)喫煙女性の健康と看護 (6)性暴力を受けた女性に対する看護 | 講義 |

| 回 | 授業内容 | 授業方法 |
|---|--|------|
| 7～8 | (7)配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV 防止法) (8)国際化社会と看護 2)リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する倫理的課題 (1)人工妊娠中絶 (2)出生前診断 (3)生殖補助医療 3)その他 (1)災害時の母子支援(静穏期からの災害対策、母子を対象にした避難所の設置) (2)周産期医療・生殖医療におけるチーム医療 | 講義 |
| 授業の進め方 視聴覚教材、VTR等を使用しながら講義を進める。「女性のライフステージ各期の特徴と看護」、「母性看護を取り巻く社会の変遷と現状」は、事前に内容を整理する。倫理的課題に関しては、事例を用いて、ディスカッションし、自己の意見を述べることができるように支援する。 | | |
| テキスト 1. 系統看護学講座 専門 母性看護学[1] 母性看護学概論 (医学書院) 2. 国民衛生の動向 2022/2023 (厚生統計協会) | | |
| 評価方法 筆記試験、レポート、出席状況により総合的に評価する。 | | |

| | | | |
|--|---|--------------|-----------|
| 領 域 | 専門分野 (母性看護学) | 開講時期 | 2年前期 |
| 科目名 (单元名) | 母性看護方法論 I | 単位数 (時間数) | 1単位(30時間) |
| 講 師 (所属・職位等・ 実務経験) | ① (別府医療センター・産婦人科医師) ② 平川真紀(別府医療センター附属大分中央看護学校・専任教員・助産師 17年) ③ 森保美幸(別府医療センター・看護師・助産師 33年) ④ 岡部裕美(別府医療センター・看護師・助産師 33年) ⑤ 加藤元美(別府医療センター・看護師・助産師 30年) | | |
| <科目目標> 妊娠・分娩の経過と妊産婦の看護、妊娠・分娩の異常とハイリスク妊産婦の看護を理解する。 | | | |
| <内容> | | | |
| 回 | 内容 | 授業方法 | 担当講師 |
| 1・2 | 1. 妊娠の経過と生理 1) 生殖の生理 (1) 妊娠の定義 (2) 妊娠の成立 (3) 胎生期の発育とその生理 2) 妊娠の経過と変化 (1) 胎児および付属器の発育と生理 ① 胎児の発育 ② 胎盤と羊水 ③ 胎児の生理 (2) 母体の生理的变化 (3) 妊婦の心理的特徴 (4) 妊婦と家族および社会 3) 妊婦・胎児の身体的健康状態 (1) 妊娠経過の診断 (2) 妊婦健康診査 ① 体重 ② 血圧 ③ 尿検査(尿蛋白、尿糖) (3) 胎児の発育と健康状態 ① 胎児の発達・健康状態 i 超音波断層法 ii 胎児心拍数陣痛図 iii BPS(biophysical profile score) iv 間欠的胎児心拍数聴取 (4) 妊娠経過に伴う全身状態 (5) 生理的变化に伴う不快症状 | 講義 | ② |
| 3・4 | 2. 妊婦の理解と看護 1) 妊婦の身体的側面の理解とアセスメント 身体変化(マイナートラブル、体重、ボディイメージの変化) 2) 妊婦と家族の心理・社会面の理解とアセスメント 母親役割獲得過程の準備状態、家族発達危機に関するアセスメント 3) 日常生活のアセスメントと妊婦の保健相談 (1) 母子健康手帳交付 (2) 食生活 (3) 排泄 (4) 清潔 (5) 衣生活 (6) 活動と休息 (7) 勤労 (8) マイナートラブル (9) 性生活 (10) 嗜好品(喫煙、アルコール、カフェイン) 4) 親になるための準備教育 (1) 分娩準備教育 ① バースプラン ② 里帰り分娩 ③ 母親学級・両親学級 ④ 産痛緩和法 (2) 育児準備のための保健指導 ① 乳房ケア 5) 家族役割調整のための保健指導 | 講義 | ② |
| 5 | 2. 妊婦の理解と看護 6) 妊婦の看護に必要な技術 (1) 腹囲、子宮底長測定 (2) レオポルド触診法 (3) 胎児心拍聴取 (4) 妊婦体操 | 演習 | ② |

| | | | |
|-----|--|----|---|
| 6・7 | <p>3. 異常妊娠の病態と検査・治療</p> <p>1) ハイリスク妊娠</p> <p>(1) 生活習慣、心理的・社会的因子、体格による影響</p> <p>(2) 既往妊娠分娩歴 (3) 今回の妊娠中の異常</p> <p>(4) 合併する全身疾患</p> <p>① 心疾患 ② 糖尿病 ③ 妊娠貧血</p> <p>(5) 年齢によるリスク ① 高齢妊娠 ② 若年妊娠</p> <p>2) 妊娠期の感染症</p> <p>3) 妊娠疾患</p> <p>(1) 妊娠悪阻 (2) 妊娠高血圧症候群</p> <p>(3) 血液型不適合妊娠 (4) 妊娠糖尿病</p> <p>4) 多胎妊娠</p> <p>5) 妊娠持続期間の異常</p> <p>(1) 不育症、流産 (2) 早産・切迫早産</p> <p>6) 異所性妊娠 7) 検査治療</p> <p>4. 遺伝相談</p> <p>1) 遺伝相談とは</p> <p>2) 出生前診断の実際</p> <p>(1) 出生前診断の適応</p> <p>(2) 出生前診断の検査方法</p> <p>① 羊水穿刺 ② 絨毛採取 ③ 胎児血・胎児組織の採取 ④ 母体血清マーカー検査</p> <p>⑤ 無侵襲的出生前遺伝学的検査(NIPT)</p> <p>5. 不妊治療</p> <p>1) 不妊とその原因</p> <p>(1) 不妊の定義</p> <p>(2) 不妊の原因</p> <p>① 排卵因子 ② 卵管因子 ③ 子宮因子</p> <p>④ 男性因子</p> <p>2) 不妊検査</p> <p>(1) 排卵因子</p> <p>① 基礎体温表 ② 頸管粘液検査 ③ 超音波検査</p> <p>④ ホルモン測定</p> <p>(2) 卵管因子</p> <p>① 子宮卵管造影法 ② 描写式卵管通気法</p> <p>③ 卵管通水法 ④ 内視鏡検査</p> <p>⑤ 子宮内膜組織検査・月経血培養</p> <p>(3) 子宮因子</p> <p>(4) 男性因子</p> <p>① 精液検査 ② ヒューナーテスト ③ ミラー・クルツロクテスト ④ 精巣組織診 ⑤ ハムスターテスト</p> <p>3) 不妊治療</p> <p>(1) 排卵因子の治療 (2) 男性因子の治療</p> <p>(3) ART 凍結融解胚移植</p> | 講義 | ① |
| 8 | <p>6. 異常妊娠と看護</p> <p>1) ハイリスク妊婦の看護</p> <p>(1) 高年妊婦</p> <p>出生前診断を受ける人への看護・遺伝カウンセリング</p> <p>(2) 若年妊婦 (3) 肥満・過剰体重増妊婦</p> <p>(4) ART 後の妊婦</p> <p>2) 合併症を有する妊婦の看護</p> <p>(1) 心疾患 (2) 糖尿病 (3) 子宮筋腫</p> <p>3) 妊娠高血圧症候群妊婦の看護</p> <p>4) 切迫流・早産の妊婦の看護</p> <p>5) 妊娠期の感染症の看護</p> <p>6) 妊娠悪阻の看護</p> | 講義 | ③ |

| | | | |
|-------|---|----|---|
| 9 | <p>1. 分娩の要素</p> <p>1) 分娩とは</p> <p>(1) 分娩の機序</p> <p>① BPS ② ビショップスコア ③ 産徴</p> <p>(2) 分娩の3要素</p> <p>① 産道(子宮口の開大、子宮頸管展退)</p> <p>② 娩出力(分娩陣痛、怒責) ③ 娩出物</p> <p>2. 分娩の経過</p> <p>1) 分娩の進行と産婦の身体的変化</p> <p>2) 産痛</p> <p>3) 胎児におよぼす影響</p> <p>4) 産婦の心理・社会的変化</p> <p>(1) 分娩徴候開始から入院まで</p> <p>(2) 分娩進行に伴う心理・社会的変化</p> <p>(3) 分娩第3,4期の産婦の心理・行動</p> <p>3. 産婦・胎児、家族のアセスメント</p> <p>1) 産婦と胎児の健康状態</p> <p>(1) 胎児心拍数陣痛図(CTG)</p> <p>2) 分娩経過</p> <p>3) 産婦と家族の心理・社会面の変化</p> | 講義 | ④ |
| 10 | <p>4. 産婦と家族の看護</p> <p>1) 産婦のニード</p> <p>2) 安全分娩への看護</p> <p>3) 安楽な分娩への看護</p> <p>4) 基本的ニードの充足</p> <p>5) 分娩第1期の看護</p> <p>(1) 分娩第1期の活動期(子宮口開大3~7cmまで)の看護</p> <p>(2) 分娩第1期活動期終盤(減速期:子宮口開大7~8cm以上全開大まで)の看護</p> <p>6) 分娩第2期の看護</p> <p>7) 分娩第3・4期の看護</p> <p>8) 各期における産婦の身体的、心理・社会的特徴</p> | 講義 | ④ |
| 11 | <p>5. 産婦の看護に必要な技術</p> <p>1) 呼吸法、リラクセス法、マッサージ法</p> <p>2) 胎児付属物の観察、計測</p> | 演習 | |
| 12・13 | <p>6. 異常分娩の病態生理と治療・処置</p> <p>1) 産道の異常</p> <p>(1) 骨産道、軟産道の異常</p> <p>2) 娩出力の異常</p> <p>(1) 陣痛の異常 ① 微弱陣痛 ② 過強陣痛</p> <p>3) 胎児の異常による分娩障害</p> <p>4) 胎児の付属物の異常</p> <p>(1) 胎盤の異常 ① 前置胎盤 ② 常位胎盤早期剥離</p> <p>(2) 臍帯の異常</p> <p>(3) 卵膜の異常 ① 前期破水等</p> <p>(4) 羊水の異常</p> <p>5) 胎児機能不全</p> <p>(1) 概念 (2) 原因 (3) 診断 (4) 治療</p> <p>6) 分娩時の損傷</p> <p>7) 分娩第3期および分娩直後の異常</p> <p>(1) 胎盤の娩出遅延 ① 癒着胎盤</p> <p>(2) 子宮の異常</p> <p>8) 分娩時異常出血</p> | 講義 | ① |
| 14・15 | <p>7. 分娩の異常と看護</p> <p>1) 破水が生じた産婦の看護</p> <p>2) 分娩遷延のリスクのある産婦の看護</p> | 講義 | ⑤ |

| | | | |
|--|--|--|--|
| | 3) 胎児機能不全のリスクのある産婦の看護 4) 前置胎盤のある産婦の看護 5) 常位胎盤早期剥離時の看護 6) 帝王切開術を受ける産婦の看護 7) 分娩時異常出血のある産婦の看護 (1) 弛緩出血を生じた産婦の看護 (2) 頸管裂傷を生じた産婦の看護 (3) 会陰裂傷を生じた産婦、会陰切開を行った産婦の看護 | | |
| 授業の進め方 主に講義で進めていく。妊娠、分娩について、視聴覚教材を含めながら講義を進めていく。 妊娠期では、腹囲、子宮底長測定、レオポルド触診法の演習を行う。分娩期では、産婦の看護に必要な指導・技術を行う。 | | | |
| テキスト 1. 系統看護学講座 専門 母性看護学[2]母性看護学各論(医学書院)：①②③④⑤ 2. 病気がみえる Vol.10 産科(メディックメディア)：① 3. 根拠と事故防止からみた母性看護技術(医学書院)：④ | | | |
| 評価方法 筆記試験 | | | |

| | | | |
|---|--|-----------|-----------|
| 領域 | 専門分野 (母性看護学) | 開講時期 | 2年前期 |
| 科目名 (单元名) | 母性看護方法論Ⅱ | 単位数 (時間数) | 1単位(30時間) |
| 講師 (所属・職位等・実務経験) | ①古賀寛史(別府医療センター・小児科医長) ②宇江城亜希子(別府医療センター・助産師・17年) ③宮崎恵子(別府医療センター・新生児集中ケア認定看護師・看護師33年) ④野中智恵(別府医療センター附属大分中央看護学校・専任教員・助産師18年) | | |
| <科目目標> 産褥期の経過と褥婦の看護、産褥期の異常とハイリスク褥婦の看護および新生児の正常経過と異常における看護について理解する。 | | | |
| <内容> | | | |
| 回 | 授業内容 | 授業方法 | 担当講師 |
| 1・2 | 1. 産褥の経過 1) 産褥期の身体的変化(退行性変化と進行性変化) (1) 産褥の定義 (2) 子宮の復古と悪露 (3) 乳汁分泌 (4) 月経の発来 (5) 代謝の変化 2) 産褥期の心理・社会的変化 (1) 母親への適応過程 (2) マタニティブルー (3) 家族の心理社会的変化 | 講義 | ② |
| 3・4 | 2. 褥婦と家族の看護 1) 身体機能回復および進行性変化への看護 (1) 子宮復古と身体の回復 (2) 休息と活動 (3) 栄養 (4) 排泄 (5) 清潔 (6) 乳房のケア 2) 児との関係確立への看護 3) 育児技術に関わる援助 4) 家族関係再構築への看護 5) 退院後の生活指導と看護 (1) 育児不安と育児支援 (2) 職場復帰 | 講義 | ② |
| 5 | 6) 褥婦の看護技術 (1) 子宮底の触診 (2) 乳房のケア (3) 悪露交換 | 演習 | ④ |
| 6 | 3. 異常産褥の病態生理と治療・処置 1) 子宮復古不全 2) 産褥期の発熱 (1) 産褥熱 (2) 泌尿器感染症(尿路感染、排尿障害) (3) 乳腺炎等 3) 産褥血栓症 4) 精神障害 | 講義 | ② |
| 7・8 | 4. 産褥の異常と看護 1) 子宮復古不全の看護 2) 産褥期の発熱の看護 3) 感染症を持っている褥婦の看護 (1) B型肝炎 (2) 成人T細胞白血病 (3) 後天性免疫不全症候群 4) 乳房トラブルへの看護 5) 本人あるいは児に健康上の問題がある褥婦の看護 (1) 帝王切開術後の看護 (2) 深部静脈血栓症の予防 (3) 早産児や低出生体重児を産んだ褥婦の看護 6) 児を亡くした褥婦・家族の看護 7) 精神障害合併妊婦と家族の看護 | 講義 | ② |
| 9 | 1. 新生児の生理と経過 1) 新生児とは (1) 新生児の定義 (2) 新生児の成熟の定義 2) 新生児の形態・機能 (1) 子宮外適応現象 (2) 新生児の呼吸・循環・体温・消化吸収 (3) ビリルビン代謝 (4) 新生児の免疫 (5) 新生児の体格、姿勢、反射 2. 新生児のアセスメント 1) 出生直後の新生児の診断 (1) アプガースコア (2) シルバーマンスコア (3) 原始反射 2) 新生児の健康状態のアセスメント (1) バイタルサイン | 講義 | ① |

| | | | |
|---|---|----|---|
| | (2) 子宮外生活適応状態のアセスメント ① 呼吸・循環・栄養・排泄・体温調節・免疫の評価 ② 体重(生理的体重減少) ③ 黄疸 ③ 哺乳状態 | | |
| 10 | 3. 新生児の看護 1) 出生直後の看護 (1) 鼻腔口腔吸引 (2) アプガースコア採点 (3) 水分除去、体温管理 (4) 臍処置 (5) 抗生物質点眼 (6) 身体計測(体重・身長・頭囲・腹囲) (7) 母子標識の装着 2) 出生後から退院までの看護 (1) 経過観察と看護 (2) 身体の清潔 (3) 臍帯の処置 (4) ビタミンKの投与 (5) 新生児の医療事故 | 講義 | ③ |
| 11 | 3. 新生児の看護 1) 新生児の看護技術 (1) 新生児の観察、身体計測(身長、体重、頭囲、胸囲) (2)抱っこ (3) 授乳、調乳 | 演習 | ④ |
| 12 | 3. 新生児の看護 1) 新生児の看護技術 (4) 沐浴 (5) 更衣 (6) 臍処置 | 演習 | ④ |
| 13 | 4. 新生児の異常 1) 早産児・低出生体重児 2) 新生児一過性多呼吸 3) 呼吸窮迫症候群 4) 胎便吸引症候群 5) 分娩外傷 6) 新生児仮死 7) 高ビリルビン血症 8) 新生児ビタミンK欠乏症 9) 低血糖症 10) 先天奇形(口唇・口蓋裂等) | 講義 | ① |
| 14・15 | 5. ハイリスク新生児の看護 1) 周産期医療・生殖医療におけるチーム医療 (1) 母体搬送 (2) 新生児搬送 (3) チーム医療 (4) 周産期医療ネットワーク 2) NICUにおける看護の7原則 3) ハイリスク新生児およびその家族に対する看護 4) 低出生体重児の看護 5) 新生児仮死の看護 6) 新生児低血糖症の看護 7) 新生児一過性多呼吸(TTN)の看護 8) 胎便吸引症候群(MAS)の看護 9) 分娩外傷の看護 10) 新生児ビタミンK欠乏症の看護 11) 高ビリルビン血症の看護 | 講義 | ③ |
| <p>授業の進め方</p> <p>視聴覚教材等を用いて講義を進める。学生の理解を深めるために、産褥・新生児の事例を含めながら説明していく。産褥期・新生児期の看護技術は、事前にDVD等で援助方法を確認し、演習を行う。</p> | | | |
| <p>テキスト</p> <p>1. 系統看護学講座 専門 母性看護学 [2] 母性看護学各論(医学書院) : ①②③④ 2. 病気がみえる Vol.10 産科(メディックメディア) : ③ 3. 根拠と事故防止からみた母性看護技術 (医学書院) : ④ 4. 系統看護学講座 専門 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論 : ③</p> | | | |
| <p>評価方法</p> <p>筆記試験</p> | | | |

| | | | |
|-------------------------|--------------------------------------|--------------|-----------|
| 領域 | 専門分野 (母性看護学) | 開講時期 | 2年後期 |
| 科目名 (単元名) | 母性看護方法論Ⅲ | 単位数 (時間数) | 1単位(15時間) |
| 講師 (所属・職位等・ 実務経験) | 平川真紀(別府医療センター附属大分中央看護学校・専任教員・助産師17年) | | |

<科目目標>

妊産褥婦と新生児の看護を展開し、妊産褥婦のセルフケア能力に応じた援助を身につける。

<内容>

《事例》29歳 初産婦

基礎情報: BMI22、夫との二人暮らし 実家は県内で、出産後に里帰りの予定 会社員で出産後は1年間の育児休業を取得予定。

妊娠期: 血圧 120~140/70~80 mm Hg で経過、体重増加 10kg 以内、8~16 週の間につわり、30 週ごろより腰痛、34 週ごろより頻尿あり。胎児は well-being で、BPD、FL、EFBW は週数に応じて正常範囲内。出産を心待ちにしている一方で、親になること、初めての子育てに対して不安がある。夫、両方の両親とも子の誕生を心待ちにしている。

分娩期: 妊娠 40 週 1 日、陣痛初来。6 時間後に破水、その間胎児の健康状態に問題なし。夫の付き添い有。子宮口 9 cm、変動一過性徐脈があった。分娩所要時間は 10 時間 40 分。出血量 250ml、1 度会陰裂傷あり。分娩中、分娩後の血圧 120~124/70~80 mm Hg。

産褥期: 子宮底高は産褥日数に一致。会陰部の疼痛あり。産褥 1 日目に初乳がごくわずか、産褥 2 日目から少しずつ母乳分泌あり。産褥 3 日目、乳頭に発赤あり。体重、排泄、全身の疲労の程度に特段の援助を要する状態はない授乳時、児に話しかける様子や写真を撮り過ごしている。抱っこやおむつ替えなどの子の世話は、初めてでぎこちないが、積極的に行動しようとする。夫は毎日面会に来て、子に話しかけている。

新生児: Ap9 点/10 点、体重 3200g、身長 50 cm、先天奇形なし。直母に吸啜良好。生理的体重減少は最大 7%、ビリルビン。VS は正常範囲内。

| 回 | 授業内容 | 授業方法 |
|-----|---|------|
| 1・2 | 1. 正常な経過をたどる妊婦の看護 1) 妊婦の身体的側面の理解とアセスメント (1) 母体の変化 (2) 胎児の成長・発達 (3) マイナートラブル 2) 妊婦と家族の心理・社会面の理解とアセスメント 3) 日常生活のアセスメントと妊婦の保健相談 (1) マイナートラブルを訴える妊婦への看護実践 4) 親になるための準備教育 | 演習 |
| 3・4 | 2. 正常な経過をたどる産婦の看護 1) 産婦・胎児のアセスメント 2) 家族のアセスメント | 演習 |
| 5~8 | 3. 正常な経過をたどる褥婦・新生児の看護 1) 褥婦の身体的変化のアセスメント (1) 退行性変化 (2) 全身の回復状態 (3) 進行性変化 2) 褥婦の心理・社会的変化のアセスメント (1) 産後の心理、母親としての自己概念の構築過程 (2) 母親行動としての役割行動 (3) 産後の心理・役割取得に影響する因子 (4) 家族/役割関係 (5) 生活/社会環境 3) 新生児のアセスメント (1) 健康状態 (2) 成長・発達 (3) 養護・栄養 (4) 親子・家族関係 (5) 生活環境 4) アセスメント及び計画に基づいた、看護の実践と評価 | 演習 |

| | | |
|---|---|--|
| | (1)活動と休息(早期離床、産褥体操) (2)清潔、衣生活(陰部の清潔、悪露交換) (3)授乳指導(直接授乳、乳房・乳頭・乳輪部マッサージ) (4)育児に関する指導(抱き方、オムツ交換など) (5)沐浴指導 | |
| 授業の進め方 | | |
| 29歳初産婦の事例を通して、妊産褥婦および新生児への看護を展開する。対象(妊産褥婦・新生児)の生理的変化を観察・判断し、対象の健康の保持・増進の観点で必要な援助を考える。看護を展開するにあたり、母性看護学概論の「母性看護で用いられる看護の概念」(ヘルスプロモーション、ウェルネス志向)を想起する。妊娠期・分娩期については、情報をもとにアセスメントをし、正常か異常かを判断する。妊娠期は、マイナートラブルを訴える妊婦への臨床判断を問う。また、産褥期には介入計画に基づき援助を実践し、母性看護過程の一連を理解する。母親だけでなく母児一体で考えることができるように支援していく。さらに、褥婦のセルフケアを促進する援助を実践する。 | | |
| テキスト | | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 系統看護学講座 専門 母性看護学 [1] 母性看護学概論(医学書院) 2. 系統看護学講座 専門 母性看護学 [2] 母性看護学各論(医学書院) 3. 根拠と事故防止からみた母性看護技術(医学書院) 4. ウェルネスからみた母性看護過程+病態関連図 第4版(医学書院) 5. 看護診断ハンドブック 第11版 | | |
| 評価方法 | | |
| レポート、授業参加態度により総合的に評価する。 | | |